



タイトル「**2023年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**危機管理学部**」  
シラバスの詳細は以下となります。



|                |  |      |    |
|----------------|--|------|----|
| 科目ナンバー         | RMGT2601S  |      |    |
| 科目名            | 基礎ゼミ   |      |    |
| 担当教員           | 鈴木 秀洋  |      |    |
| 対象学年           | 2年,3年,4年   | 開講学期 | 前期 |
| 曜日・時限          | 火 3  |      |    |
| 講義室            | 1207   | 単位区分 | 必  |
| 授業形態           | 演習・ゼミナール   | 単位数  | 2  |
| 科目大分類          | 専門   |      |    |
| 科目中分類          | 専門基幹   |      |    |
| 科目小分類          | 専門総合・演習  |      |    |
| 科目の位置付け (開発能力) | <p>■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連</p> <p>DP1- E [学識・専門技能] 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる</p> <p>DP3- H [論理的思考力・批判的思考力] 理路整然とした思考を備えつつ、問題・課題を合理的に解決することができる。</p> <p>DP4- I [理解力・分析力]文章表現、数値データを適切に扱いつつ情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。</p> <p>DP4- F [探求力・課題解決力] 問いを設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。</p> <p>DP6- K [表現力・対話力] 文章および口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。</p> <p>■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック (C R) との関連</p> <p>F 1 探求力・課題解決力 ◎ (50%)</p> <p>E 1 学識・専門技能 ○ (10%)</p> <p>H 1 批判的思考力・論理的思考力○ (10%)</p> <p>I 1 理解力・分析力 ○ (10%)</p> <p>K 1 創造的挑戦力・達成力○ (10%)</p> <p>B 1 自己の特性を理解し社会に貢献しようとする姿勢◇ (5%)</p> <p>C 1 倫理観と公共心◇ (5%)</p> <p>L 1 協働力・牽引力◇ (5%)</p> |      |    |
| 教員の実務経験        | <p>東京23区において、20年以上公務員として、法務、人事、監査、秘書（総務課長補佐）、危機管理課長、男女（ジェンダー）課長、児童福祉（子ども家庭支援センター所長）等の実務経験がある。</p> <p>担当教員の实務経験を踏まえて理論と事務を架橋する演習を行う。実務経験を踏まえた具体的事案の提示等はすべての授業回において行う（1回目から15回）。</p>   |      |    |
| 成績ターゲット区分      | <p>■成績ターゲット</p> <p>2進期～3発展期</p>  |      |    |
| 科目概要・キーワード     | <p>危機管理の研究領域の中から、学生個人がそれぞれ1つの研究テーマを構築するのに必要なスキルと知識を統合的に学ぶために、危機管理に関する基礎的な演習を行います。危機管理学の専門基幹科目における法学系科目、又は、専門展開科目における災害マネジメント、パブリックセキュリティ、グローバルセキュリティ若しくは情報セキュリティに属する危機管理系科目を担当する教員が「個別クラス」を担当し、教員の研究領域の特性に即して研究手法等を指導します。3年次以降のゼミナールにおける、より専門的な研究活動への橋渡しの意味をもちま</p>  |      |    |

|         | <p>す。本科目では、研究のテーマ決定や研究計画の検討からはじめて、研究を進め、その成果をプレゼンテーションによって表現することまでを行います。授業形態は、演習形式により行います。</p> <p>(キーワード) ・危機管理 ・研究テーマの構築 ・ゼミナールへの橋渡し</p> <p>授業形態は(講義・実技・実習・演習)形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。</p>  |   |    |   |   |   |  |   |  |   |   |
|---------|---|---|----|---|---|---|--|---|--|---|---|
| 授業の趣旨   | <p>■副題<br/>社会的問題にアンテナを立て、どうしたら解決できるか調べ、議論し、解決する。</p> <p>■授業の目的<br/>危機管理に関する研究テーマの探求、研究手法の会得、研究成果の発表の各過程を通じて、①探求力・課題解決力、②学識・専門技能、③論理的思考力・批判的思考力、④理解力・分析力、⑤表現力・対話力の各コンピテンスの開発を行うことを目的とする。将来のキャリアを見据えた学びにおいて、⑥自己の特性を理解し社会に貢献しようとする姿勢、⑦倫理観と公共心、⑧省察力の各観点について自覚を持つことができるようになる。</p> <p>■授業のポイント<br/>様々な社会的課題を扱い、法的知識及び思考をもとに解決できるようになる。</p>  |   |    |   |   |   |  |   |  |   |   |
| 総合到達目標  | <p>■旺盛な関心をもって危機管理学及びそれを支える諸科学における重要問題を探求し、これを科学的な手法によって分析し、又は論理的に解釈して知見を見出すとともに、その成果を適切に表現することができる。</p> <p>・研究方法や研究論文の進め方について理解できる(1回)</p> <p>・問題点や論点を探求し、自らの見解を持つことができる(2回～7回)</p> <p>・自らの見解に対する反論を学び、更に再反論を展開できる(8回～10回)</p> <p>■論理的に解釈して知見を見出すとともにその成果を論文にまとめ表現し発表できる。</p> <p>・自らの主張を支えるエビデンスを収集し分析することができる(9回～15回)</p> <p>・文献の調査の仕方、引用の仕方を学ぶ(6回～10回)。</p>   |   |    |   |   |   |  |   |  |   |   |
| 成績評価方法  | <p>①リアクションペーパー 50%、②レポート 50%</p> <p>(評価の観点) 上記参加度及びレポート発表において、下記F1～L1の観点から評価する。(フィードバックの方法) レポートに対しては授業内で解説を行う。</p> <p>F1 探求力・課題解決力 ◎ (50%)</p> <p>E1 学識・専門技能 ○ (10%)</p> <p>H1 批判的思考力・論理的思考力○ (10%)</p> <p>I1 理解力・分析力 ○ (10%)</p> <p>K1 創造的挑戦力・達成力○ (10%)</p> <p>B1 自己の特性を理解し社会に貢献しようとする姿勢◇ (5%)</p> <p>C1 倫理観と公共心◇ (5%)</p> <p>L1 協働力・牽引力◇ (5%)</p>   |   |    |   |   |   |  |   |  |   |   |
| 履修条件    | なし。   |   |    |   |   |   |  |   |  |   |   |
| 履修上の注意点 | ①社会の様々な問題にアンテナを立て関心をもち、調べ、多角的に検討、②他人の痛みを自分事として感じ考える、③他人の意見を聞き、自分の意見を発言、④公領域の仕事を目指し自己研鑽できる。  |   |    |   |   |   |  |   |  |   |   |
| 授業内容    | <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td> <p>①授業テーマ ガイダンス</p> <p>②概要 基礎演習15回のテーマ・進行確認・教員の実務経験を踏まえて、最近の時事問題を採り上げる(F1、E1、H1、I1、K1、B1、C1、L1以下15回同様)</p> <p>③予習120分 各自の関心ある時事問題を調べてくる。</p> <p>④復習120分 各自の発表テーマを決める。</p> </td> </tr> <tr> <td>2</td> <td> <p>①授業テーマ ストーカー・DV</p> <p>②概要 ストーカー・DV 発表・討論・講評(F1、E1、H1、I1、K1、B1、C1、L1)。(教員の実務経験を踏まえて)</p> <p>③予習120分 該当範囲の資料を読んでくる。</p> <p>④復習120分 当該演習回をノートにまとめる。</p> </td> </tr> <tr> <td>3</td> <td> <p>①授業テーマ 児童虐待</p> <p>②概要 児童虐待 発表・討論・講評(F1、E1、H1、I1、K1、B1、C1、L1)。これまでの対策の流れと現状の課題が説明できるようになる。(教員の実務経験を踏まえて)</p> <p>③予習120分 該当範囲の資料を読んでくる。</p> <p>④復習120分 当該演習回をノートにまとめる。</p> </td> </tr> <tr> <td>4</td> <td> <p>①授業テーマ SOGI対策</p> <p>②概要 SOGI対策 発表・討論・講評(F1、E1、H1、I1、K1、B1、C1、L1)。</p> </td> </tr> </tbody> </table> | 回 | 内容 | 1 | <p>①授業テーマ ガイダンス</p> <p>②概要 基礎演習15回のテーマ・進行確認・教員の実務経験を踏まえて、最近の時事問題を採り上げる(F1、E1、H1、I1、K1、B1、C1、L1以下15回同様)</p> <p>③予習120分 各自の関心ある時事問題を調べてくる。</p> <p>④復習120分 各自の発表テーマを決める。</p> | 2 | <p>①授業テーマ ストーカー・DV</p> <p>②概要 ストーカー・DV 発表・討論・講評(F1、E1、H1、I1、K1、B1、C1、L1)。(教員の実務経験を踏まえて)</p> <p>③予習120分 該当範囲の資料を読んでくる。</p> <p>④復習120分 当該演習回をノートにまとめる。</p> | 3 | <p>①授業テーマ 児童虐待</p> <p>②概要 児童虐待 発表・討論・講評(F1、E1、H1、I1、K1、B1、C1、L1)。これまでの対策の流れと現状の課題が説明できるようになる。(教員の実務経験を踏まえて)</p> <p>③予習120分 該当範囲の資料を読んでくる。</p> <p>④復習120分 当該演習回をノートにまとめる。</p> | 4 | <p>①授業テーマ SOGI対策</p> <p>②概要 SOGI対策 発表・討論・講評(F1、E1、H1、I1、K1、B1、C1、L1)。</p> |
| 回       | 内容  |   |    |   |   |   |  |   |  |   |   |
| 1       | <p>①授業テーマ ガイダンス</p> <p>②概要 基礎演習15回のテーマ・進行確認・教員の実務経験を踏まえて、最近の時事問題を採り上げる(F1、E1、H1、I1、K1、B1、C1、L1以下15回同様)</p> <p>③予習120分 各自の関心ある時事問題を調べてくる。</p> <p>④復習120分 各自の発表テーマを決める。</p>   |   |    |   |   |   |  |   |  |   |   |
| 2       | <p>①授業テーマ ストーカー・DV</p> <p>②概要 ストーカー・DV 発表・討論・講評(F1、E1、H1、I1、K1、B1、C1、L1)。(教員の実務経験を踏まえて)</p> <p>③予習120分 該当範囲の資料を読んでくる。</p> <p>④復習120分 当該演習回をノートにまとめる。</p>  |   |    |   |   |   |  |   |  |   |   |
| 3       | <p>①授業テーマ 児童虐待</p> <p>②概要 児童虐待 発表・討論・講評(F1、E1、H1、I1、K1、B1、C1、L1)。これまでの対策の流れと現状の課題が説明できるようになる。(教員の実務経験を踏まえて)</p> <p>③予習120分 該当範囲の資料を読んでくる。</p> <p>④復習120分 当該演習回をノートにまとめる。</p>  |   |    |   |   |   |  |   |  |   |   |
| 4       | <p>①授業テーマ SOGI対策</p> <p>②概要 SOGI対策 発表・討論・講評(F1、E1、H1、I1、K1、B1、C1、L1)。</p>   |   |    |   |   |   |  |   |  |   |   |

|    |  |
|----|--|
|    | <p>(教員の実務経験を踏まえて)</p> <p>③予習120分 該当範囲の資料を読んでくる。</p> <p>④復習120分 当該演習回をノートにまとめる。</p>   |
| 5  | <p>①授業テーマ 子どもの貧困</p> <p>②概要 子どもの貧困対策 発表・討論・講評(F1、E1、H1、I1、K1、B1、C1、L1)。(教員の実務経験を踏まえて)</p> <p>③予習120分 該当範囲の資料を読んでくる。</p> <p>④復習120分 当該演習回をノートにまとめる。</p>                             |
| 6  | <p>①授業テーマ 子どもの居場所づくり</p> <p>②概要 子どもの居場所づくり 発表・討論・講評(F1、E1、H1、I1、K1、B1、C1、L1) (教員の実務経験を踏まえて)</p> <p>③予習120分 該当範囲の資料を読んでくる。</p> <p>④復習120分 当該演習回をノートにまとめる。</p>                       |
| 7  | <p>①授業テーマ 児童虐待・子育て支援</p> <p>②概要 児童虐待 発表・討論・講評(F1、E1、H1、I1、K1、B1、C1、L1)。これまでの対策の流れと現状の課題が説明できるようになる。(教員の実務経験を踏まえて)</p> <p>③予習120分 該当範囲の資料を読んでくる。</p> <p>④復習120分 当該演習回をノートにまとめる。</p> |
| 8  | <p>①授業テーマ 行政の内部統制・コンプライアンス</p> <p>②概要 行政の内部統制・コンプライアンス 発表・討論・講評(F1、E1、H1、I1、K1、B1、C1、L1) (教員の実務経験を踏まえて)</p> <p>③予習120分 該当範囲の資料を読んでくる。</p> <p>④復習120分 当該演習回をノートにまとめる。</p>           |
| 9  | <p>①授業テーマ 住民との紛争解決システム</p> <p>②概要 住民との紛争解決システム 発表・討論・実務経験を踏まえた講評(F1、E1、H1、I1、K1、B1、C1、L1)。(教員の実務経験を踏まえて)</p> <p>③予習120分 該当範囲の資料を読んでくる。</p> <p>④復習120分 当該演習回をノートにまとめる。</p>          |
| 10 | <p>①授業テーマ 性的合意</p> <p>②概要 性的合意 発表・討論・講評(F1、E1、H1、I1、K1、B1、C1、L1) (教員の実務経験を踏まえて)</p> <p>③予習120分 該当範囲の資料を読んでくる。</p> <p>④復習120分 当該演習回をノートにまとめる。</p>                                   |
| 11 | <p>①授業テーマ 性的合意のプログラム作成</p> <p>②概要 性的合意のプログラム作成 発表・討論・講評(F1、E1、H1、I1、K1、B1、C1、L1) (教員の実務経験を踏まえて)</p> <p>③予習120分 該当範囲の資料を読んでくる。</p> <p>④復習120分 当該演習回をノートにまとめる。</p>                   |
| 12 | <p>①授業テーマ 災害弱者対策</p> <p>②概要 災害弱者対策 発表・討論・講評(F1、E1、H1、I1、K1、B1、C1、L1) (教員の実務経験を踏まえて)</p> <p>③予習120分 該当範囲の資料を読んでくる。</p> <p>④復習120分 当該演習回をノートにまとめる。</p>                               |
| 13 | <p>①授業テーマ 福祉避難所</p> <p>②概要 福祉避難所 発表・討論・講評(F1、E1、H1、I1、K1、B1、C1、L1) (教員の実務経験を踏まえて)</p> <p>③予習120分 該当範囲の資料を読んでくる。</p> <p>④復習120分 当該演習回をノートにまとめる。</p>                                 |
| 14 | <p>①授業テーマ 安全安心のまちづくり</p> <p>②概要 安全安心のまちづくり 発表・討論・講評(F1、E1、H1、I1、K1、B1、C1、L1) (教員の実務経験を踏まえて)</p> <p>③予習120分 該当範囲の資料を読んでくる。</p> <p>④復習120分 当該演習回をノートにまとめる。</p>                       |
| 15 | <p>①授業テーマ 公務員として必要な知識・知見・矜持</p> <p>②概要 公務員として実務上必要な知識・知見・矜持(公助・共助・自助について) 発表・討論・講評(F1、E1、H1、I1、K1、B1、C1、L1) (教員の実務経験を踏まえて)</p>   |

|             |   |
|-------------|---|
|             | <p>③予習120分 該当範囲の資料を読んでくる。<br/>④復習120分 当該演習回をノートにまとめる。</p>   |
| 関連科目        | ①演習系科目としては、「自主創造の基礎」「アカデミック・スキルズ」(RMGT1215・RMGT1216)「ゼミナールI～V」(RMGT4601～4605)と関連する。とくに、「ゼミナールI～V」(RMGT4601～4604)への橋渡しを行う。   |
| 教科書         | ①鈴木秀洋(2021)『(改訂)自治体職員のための行政救済実務ハンドブック』(第一法規)ISBN978-4-474-07383-8、②鈴木秀洋(2021)『虐待・DV・性被害・災害等から市民を守る社会的弱者にしない自治体法務』(第一法規)ISBN978-4-474-07165-0 ③鈴木秀洋(2019)『子を、親を、児童虐待から救う』(公職研)ISBN978-4-87526-392-0。三冊使用 |
| 参考書・参考URL   | 鈴木秀洋研究室HP   |
| 連絡先・オフィスアワー | <ul style="list-style-type: none"> <li>■連絡先 開講時に告知します。</li> <li>■オフィスアワー 掲示板にてお知らせします。メールにて事前にアポイントメントをとってください。</li> </ul>  |
| 研究比率        | <ul style="list-style-type: none"> <li>■災害マネジメント15%、パブリックセキュリティ65%、情報セキュリティ15%、グローバルセキュリティ5%</li> <li>■危機管理学40% 法学60%</li> </ul>  |

